

製品情報

植物成長調整剤

ナインG乳剤



農林水産省登録	第23085号
有効成分	ニコスルフロン・・・4.0%
性状	類白色粘稠懸濁液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4年
包装	250ml × 10本

特長

- ✓ チガヤ、ススキなど多年生イネ科雑草の伸長を強く抑制
本剤は雑草の草丈20～30cm頃に使用することで、その伸長を強く抑制します。

- ✓ のり面を保護
本剤は雑草を完全に枯殺しないため、のり面の裸地化による土壌流亡を防ぎます。

- ✓ 草刈作業を省力化
雑草の伸長を長く抑制するので、景観を維持しながら草刈・刈り草除去作業などの管理場面での省力化が期待できます。

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	1㎡当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
つつじ類 つばき類 いぬつげ どうだんつつじ	チガヤ	雑草生育期	0.1～0.15㎖	100～200㎖	3回以内	雑草茎葉散布又は全面散布	3回以内
日本芝		芝生育期 (雑草生育期)				散布	
西洋芝 (パーミューダグラス)							

作物名	使用目的	1㎡当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
日本芝 (のしば)	草丈の伸長抑制による刈込軽減	0.1～0.15㎖	100～200㎖	春夏期芝生育期	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地のり面 鉄道等	多年生雑草	草丈の伸長抑制による刈込軽減	雑草生育期又は刈込再生期 (草丈30cm以下)	100～150㎖	100～200ℓ	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内

※本内容は2026年8月26日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

一般的注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布液調製前には容器をよく振って使用すること。
- 雑草の生育期に薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布すること。
- 雑草生育期（草丈30cm以下）が本剤の散布適期であり、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失ないように散布すること。
- 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じることのないよう十分に注意して散布すること。
- 流出や土壌浸透により他の作物や有用植物の根に接触する可能性がある場所では使用しないこと。
- 公園、堤とう等で使用する場合、水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 散布直後の降雨は、効果を低下させるので、天候を見極めて散布すること。
- 使用後、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意すること。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

作物別注意事項

樹木等で使用する場合

- 広葉雑草のうちセイタカアワダチソウ、ヨメナ、ヨモギには効果が劣るので、これらの雑草が優占する場所での使用をさけること。

日本芝・パーミューダグラスで使用する場合

- 寒地型西洋芝では薬害を生じるので使用しないこと。特にゴルフ場で寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーグラウンド周辺では使用しないこと。
- 芝の生育が劣っている場合や生育初期に使用する場合、葉に黄変を生じることがあるが、その後の生育に影響はない。
- 萌芽期や極端な低温時には、薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 日本芝・パーミューダグラスにはターフを形成してから使用すること。
- 散布むらがあると芝の生育にむらが生じるので、均一に散布すること。

つつじ類・つばき類・いぬつげ・どうだんつつじで使用する場合

- 幼木に使用すると薬害を生じるおそれがあるため注意すること。
- 新梢伸長期に使用すると新梢の生育抑制や新葉が黄化する可能性があるため、木を大きくしたい場合は使用を避ける。

安全使用上の注意事項



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

火気並びに直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

備考

【消防法】 指定可燃物（可燃性液体）